

令和3年8月
第421号



北中より生徒が育てたキキョウの苗を、大湫の公共施設にいただきました。ありがとうございました。



集まろう会 9月5日総合文化センターでの和太鼓「志多ら」との共演を目指し頑張っています。

おもな内容

- ・大杉保存活用プロジェクトより …p1～3
- ・「ててて」に参加して …p4
- ・「大杉吊いの火祭り」について …p5
- ・転入の御挨拶 …p6
- ・楽しくリトミック …p7
- ・釜戸小野球クラブ「白川杯優勝」 …p8
- ・丸森だより
- ・集まろう会

実施体制について

広報大湫7月号では、造家工房・ナノ・ランドスキップ共同企業体の構成メンバーを紹介しました。8月号では、もう少し深く掘り下げ、複数の企業からなる私たちの強みを説明します。

① 多様な専門性を兼ね備えたチーム体制

寺社仏閣の経験もある実績豊かな建築施工者、柔軟性と行動力のある若手設計者と、また地元を知っている造園設計施工者の3社を中心に構成します。さらに、地域活性化の視点に長けたコミュニティーデザイナーや、大湫を始めとするまちづくりを行っているメンバーを加え、町民に寄り添う設計施工を行います。

② 長期的に維持できるような構造体制

様々な建築の構造経験のある構造設計者がチームに参加しています。構造設計の専門家による、長期的に耐える安全で、安心な建築を目指します。

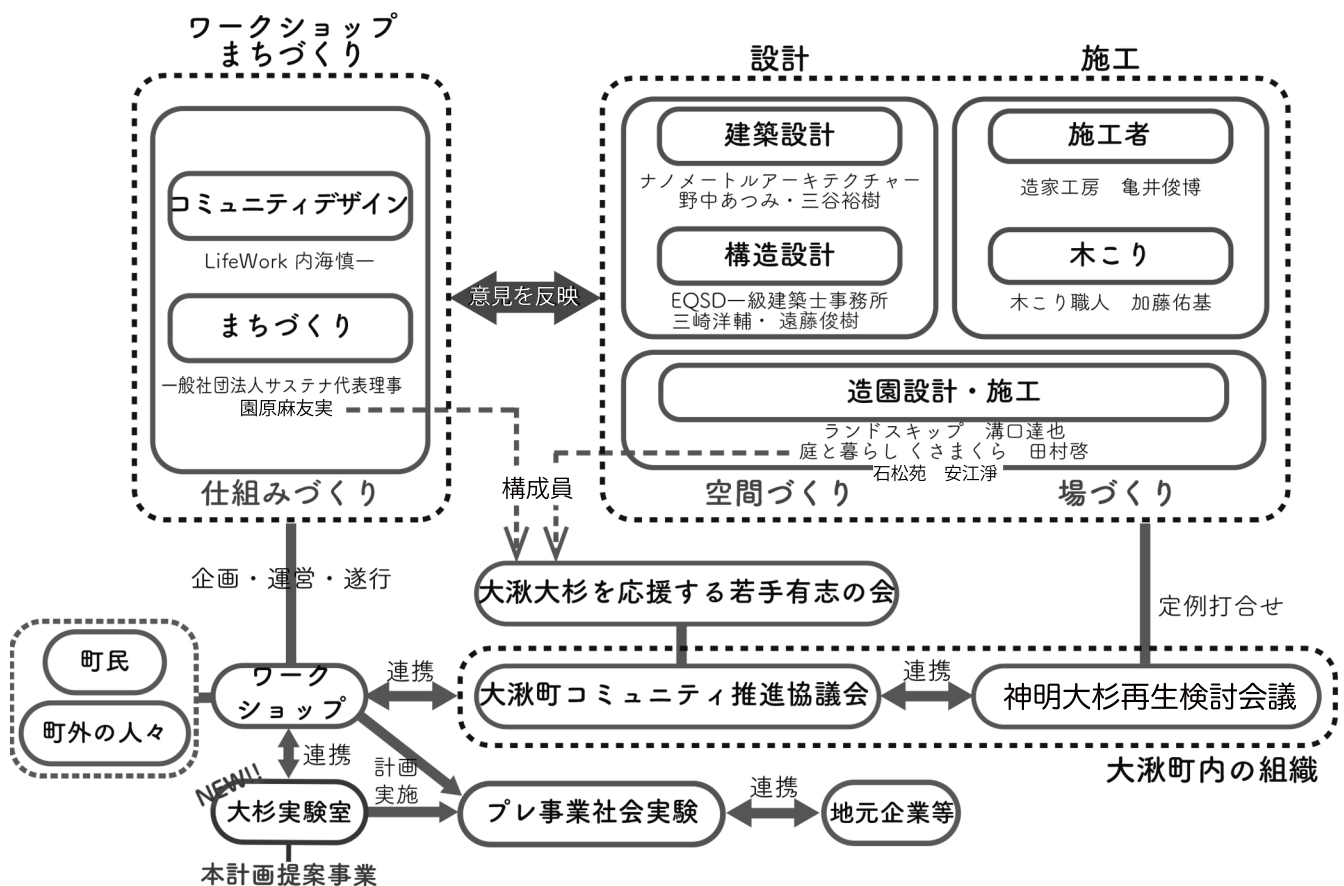
③ 「対話」を重視した業務の推進

対面やオンラインを使い、「対話」を重視した業務の推進を行います。まちづくりの専門家がワークショップやイベントを企画し、住民の皆様の意見を丁寧に汲み取り、これからの大杉のあり方、大湫町の未来を考えます。

④ 地元をよく知るチームメンバー

チームメンバーとして地元で活動している社団法人のまちづくり担当や造園家がいることで、外からでは見えない大湫の空気感を感じ取った計画が可能です。専門家であり町民もしくは町をよく知る者でもあることで、両方の考えを汲み取ったバランスの取れた案の実現を目指します。

大湫町には、いくつもの意思ある団体があります。それぞれの得意分野を活かしながら連携をとって行きます。



"ナノ"の考える大杉保存活用



オノメートルアーキテクチャー
野中(三谷) あつみ 三谷 裕樹

大湫町民にとって、大杉が大切な存在ということとは、色々なところから感じることができました。そんな皆さんの姿に感銘を受け、大杉をどう残すかという「形」だけを考えるのではなく、目に見えない「気持ち」を未来に繋いで行ける工夫をしようと思いました。

私たちが目指す場所

神明大杉は、1604年に宿場町として開かれたその時からすでに雄大な姿をしてそこにありました。豊かな山と湿地の境に位置する大湫宿は周辺の地形と一体となった美しい姿を今も保っています。それを象徴するように、大杉のある神社の側には、渾々と水が湧き大杉の成長を助けたことは容易に想像できます。自然と人々の暮らしが今よりも密接だった頃、前後に広がる多様な自然とそれを象徴するような巨木と水源に生命力や神秘性を感じたはずで、そんな自然の神羅万象に人々は敬意を払い、この御神木と神明神社は大切な場所として地域から愛されてきたのでしょう。

残念なことに大杉は倒れてしまいました。しかし私たち人間も自然のサイクルの中で生死を乗り越え大切な思いをつなげてきました。形あるものはいつかなくなります。しかしそれらはそこで消えてしまうのではなく、形をかえて私たちのおよび知らない未来に繋がっていると思うのです。

私たちが提案する保存活用工事は大杉を立て起こすだけでなく、ずっと続いてきた"大湫物語"の百一話目の一步を、また皆で歩いていくプロジェクトです。

上記のことをコンセプトに、以下のこと練り込んだプランをしました。

■未来の姿の想像

物事は常に変化していきます。変わり続ける中で私たちが見たい未来の姿は、大杉の前で談笑する人々の姿そのものなのではないでしょうか。

■永続性とは何か

自然のサイクルの中で育ち、倒れた自然の新陳代謝にできるだけ添う方法を、長期保存という「永続性」に対する回答と考えました。

■シンプルで美しい姿

屋根と大杉を支える支柱は、外側から見えることはありません。大杉を囲うことなく、荘厳な姿を保ち、神社としての機能を損なわない空間を確保しました。

■豊かな自然を残す

再びここに大杉が育つ様、土中環境の健全化を行います。野山にある樹種を植栽することも、土壌の呼吸を促します。

■安心と安全

中心をに穴を開け柱を設置します。支柱は風雨を防ぐ屋根を支え大杉の転倒を防ぎます。再び倒れることはありません。

■どんな価値を示すか

自然物として、信仰の対象として、町民のよりどころとして、町のシンボルとして多角的に価値を検証しました。

■再利用と地域資源

倒壊に伴い崩れた石垣の素材を再利用し、捨てることの少ない工事を行います。

■町と共にあゆむ

これまでの大杉を、記憶に残し伝えていくことはもちろん、ここから新たな関わりや魅力を育みます。

広報大湫 9月号では、搬出撤去方法と具体的な形について説明します。

※大湫公民館ロビーに模型と、提案資料も置いてあるので、そちらもご覧ください。

町民の皆様へ

樹齢670年の大杉保存活用工事 受託事業者
造家工房・ナノ・ランドスキップ共同企業体

樹齢670年の大杉保存活用工事について 説明会開催のご案内

「樹齢670年の大杉保存活用工事」について、6月5日の審査を経て事業者として選定いただきました。地域と共にあった大杉の存在を尊重し、これからも共にあゆみ、記憶に残して行けるような工事を行う予定です。

つきましては、下記のとおり事業概要やタイムスケジュール等についての説明会を開催いたしますので、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、コロナ禍での開催となりますので、マスク・消毒等のご協力をいただくとともに、公民館講堂の入場制限（最大50名）を超えてお集まりいただいた場合は、新たな日程を設定させていただきますのでよろしくお願いたします。

記

1. 日時 令和3年8月7日（土）13時～14時30分
2. 場所 大湫公民館 講堂
3. 内容 大杉保存活用工事の概要・タイムスケジュール等について

●大湫大杉エールの販売に関して

カマドブリュワリーさんが醸造した大杉を使ったクラフトビールが完成しました。つきましては下記の通り、奉納を行い、その後一般販売をいたします。

神明神社奉納式 8月7日（土） 17時～17時30分 神明神社にて
発売日 8月8日（日）～
場所 若竹屋、釜戸ブリュワリー工場など

杉やフレッシュな植物の香りが楽しめるということです。限定醸造なので、たくさんは作れませんが、今しか飲めない、大湫町にとって特別なビールです。見かけたら、ぜひご賞味ください。

製造 株式会社東美濃ビアワークス CAMADO BREWERY 釜戸町3154-3
企画 大湫大杉を応援する若手有志の会 okute.osugi@gmail.com

「ててて」 に参加して

田村 啓

こんにちは。公民館横の米屋に住んでいる田村です。大湫町に家族が引っ越してきてもうすぐ二年です。そんな町民一年生の私が大湫町民の一員として、これからの大湫町を考えていく「ててて」に参加しているものかと思いつきながら、大湫町ミライ総合振興計画に関わらせていただきました。

総合振興計画とは、こうあったらいいな、こんな風だったら幸せだなという願いをしたためた物です。その願いのために、現状はどうなんだろう、何をしなければいけないのだろう、今どんな状況なのかということとを調査しました。私自身は、この町のことをまだ深く知らなかったもので、こうあったらいいな、という願いについてはあまり想像ができませんでした。それでもこの町のどこかに魅力を感じ移住してきたのだから、そのなんとも言えない魅力は損なわれて欲しくないと思っています。

総合振興計画とは、関係はないのですが、昭和六十三年に「伝えよう。大湫宿の自然と町並み中山道大湫宿歴史・自然環境調査報告書」という観光資源保護調査というものが行われました。今後今ある地域資源を活かして、今後の大湫町を良いものにしていくための思案が書かれています。今から三十年前の構想の中に、実現したものや検討中なものもありました。その時では実現の可能性がわからない構想もあったことでしょう。この時の、あったらいいなを目指して動いた結果が今の大湫町を形作っていることをとても誇らしく思います。

提言書などに書いてあること以外にも私たちが、先を見通し行っていることはたくさんあるでしょう。道直しや草刈りも、今より先の暮らしを少しでもよくするためのものです。「ててて」の活動だけでなく、子々孫々と続く未来のために今できることをしようとする姿は大湫町のもっとも魅力的な部分だと思っています。

大杉の倒木、新型コロナウイルスの流行、想像もしていなかったことが起こり得ます。先のことには誰にもわかりません。でも、こうあったらいいなという願いがなければ未来の形はできません。先に起こることはわからないけど、先に起こすことは頑張ればわかるということです。

総合振興計画は一つの提言書ではありますが、私たちの暮らしを豊かにする一つのきっかけであればと思っと思っています。今後も「ててて」をよろしくお願いいたします。

「大杉吊いの火祭り」について

棚橋哲夫

令和3年7月11日、ちょうど大杉が倒木した令和2年7月11日から1年が経った日に「大杉吊いの火祭り」を行うことができました。



当日はお母さんお父さんに手を引かれた子供や、ご年配の方まで、70名もの方々にご参加いただきました。

大杉の倒木から1年が経ちました。倒木直後は大湫のシンボルがなくなり、今後の大湫をどのように考えていけばいいのかわからずに愕然とした方も多かったですと思います。

この1年間に事業費確保のための寄付協力の取り組み、敷地復旧・大杉の保存展示工事の事業者の決定、大杉に対する想いの受け止めなど多くの事業、取り組みが行われました。取り組みを行うに

あたり、町内に限らず、町外、県外の方からも快くご協力いただくことが多くありました。とても心が温かくなりました。また、大湫町内でも若手から年配の方まで、同じ席で大杉のこと大湫の将来のことについて、熱く議論を交わしてきました。



境内地復旧の予算が集まり、事業者が決定しました。大杉を忘れないために、町民が一体となって考え、行動したことを忘れないようにすること、次代の記憶に残していくことが大事だと考え、吊いの火祭りを開催しました。

大杉、大湫のことに、一生懸命、汗をかき、考え、行動を起こしてくれた方々、また、今回の吊いの火祭りに協力していただいた、「ててて」の若手メンバーの方々、本当にありがとうございます。大杉が倒れたことは非常に、残念ですが、この1年間の取り組みはきつと大湫を良い方向へと導いてくれると信じています。これからもがんばりましょう！



転入の御挨拶

猪瀬市子

大湫町のみなさん、初めまして。6月より神田区のシェアハウス「KANDA HOUSE」に埼玉から移住してきました猪瀬市子と申します。

埼玉に長年暮らしていましたが、2017年から、北アフリカのモロッコに単身渡り、壮大な大自然と生命力溢れるモロッコ人、独特な異文化に魅了され、いつの間にか住み始め、3年目の2020年、ちょうど1年前の8月に、コロナ禍の影響で、日本に帰国せざるをえなくなり戻ってきました。

私は陶芸をやっている、岐阜県土岐市の出身です。こちらのほうで工房と家を探していたところ、たまたま大湫のシェアハウスにご縁を頂きました。大湫に住み始めて、まだ一ヶ月半ですが、大湫に来られてほんと良かったな〜と、毎日散歩しながら思っています。

豊かな自然はもちろんのこと、大湫の人たちのあたたかさ、大湫を思う皆さんの気持ちが、いろんなところを感じられて、風景にもそれが現れていて、どんどん大湫が好きになっていきます。

人口増やしには、貢献できませんが^_^;

埼玉では、幼稚園で、ママ陶芸や、子どもたちと粘土遊びを、今もしています。あと「自分の健康は自分で守ろう！」と、足もみの指導もやりますので興味のある方がいらしたら、声をかけてください。

どうぞ宜しくお願い致します。

大湫宿 観音堂

今年の7月のお盆の観音堂。コロナ禍の中、中山道ボランティアガイドと丸森職員の協力で、7月13日～15日13:00～14:00に予約申し込みによる公開が行われました。

観音堂は何度見てもすごい！見飽きないし、新しい発見があります。



獅子、一頭だけ前足が上がっているよ！
本当だ。言われないとわからないね。

公民館講座「親子リトミック教室」

楽しくリトミック

足立 真衣

2歳の娘と一緒に参加させていた
いた『親子リトミック教室』。ぴよん
よんジャンプしたり、めずらしい楽器に
触れたり、わくわく楽しい時間でした。
講堂に入った時は緊張していたもの



の、先生の笑顔と楽しい音楽にすぐとびつきました。月齢にも性格にも内容がぴったりだったようで、最後まで楽しめたようです。出てくるもの全部興味深々で、すぐ触るし持つてくる…。それでも先生の対応が優しく、私も安心して参加できました。

コロナ禍で外出もままならない中、貴重な時間を過ごすことができました。同年代の友だちと遊ぶ機会もほとんどありません。なので子どもはもちろんのこと、



7 / 26

三浦順三さんより、神明大杉についていたシダから作った苔玉をいただきました。
ありがとうございます。
公民館に飾ってあります。



ママにとってもいい交流の場だと思います。今後も楽しみます！素敵な時間をありがとうございました。

釜戸小野球クラブ「白川杯優勝」

令和3年7月10日、24日に行われた、第20回白川病院旗県学童軟式野球 瑞浪市予選で、6年の宮地輝來君がキャプテンを務め、1年の宮地星輝君が所属する、釜戸小野球クラブが見事優勝しました。大会は違いますが、2年連続の県大会出場です。

今年の登録メンバーは、6年生4人、5年生5人、4年生2人、3年生2人の13人と少人数ですが、厳しい練習に耐え、優勝することができました。

9月に中濃地区で行われる県大会でも勝利できるように頑張りますので、大湫町の皆さん応援よろしくお祈りします。



古民家カフェ『橘』

オープンしての「挨拶」

橘 満寿美

こんにちは。7月17日(土)バイオリンコンサートも盛り上がり皆様喜んでいただけました。ありがとうございました。ございました。

7月18日(日)は開店を迎え、動きがなかなか慣れなくて、そして準備の悪さから皆様にご迷惑をおかけした事申し訳なく思っています。

8月から、朝の営業をやめて、11:30からのランチタイムのスタートとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

駐車場の問題も今後我店の課題です。まだまだこれから一歩ずつ階段を昇つて、皆様に来ていただけます様努力いたしますのでよろしくお祈りします。

ご意見ご要望を言って下さるよう望んでいます。

皆様に好かれる古民家カフェを目指します！よろしくお祈りします。

営業時間	11:30	~	16:00
ランチタイム	11:30	~	14:00
営業日	金・土・日・月曜日		

7月の丸森だより

令和3年7月21日現在

7月・8月の丸森の企画

●引き続き『丸森常設展 I』【4/5～ 8/31】

* 竹細工による丸森 1/50 模型(三戸憲和氏 作)

* 大湫町コレクションによる茶陶展(県無形文化財・林景正、加藤景秋作品等)

●『夏の風鈴祭り』【7/1～8/31】

●大湫観音堂特別公開【7/13、14、15、 13:00～】

* 今年度も観音さまの御開帳はありませんでしたが、観音堂の歴史と建築物としての説明。天井絵の、石仏・石碑群を中山道ボランティアガイド、丸森職員がご案内いたしました。

●『大湫神明大杉の上に苔玉を作ろう』【8/6、7、8、 9:30～11:30】 定員 30 名。¥1,000

* 大湫宿の誇りである神明大杉の記憶を長くとどめるために、大杉の枝の輪切りを受け台にして、倒木大杉から採取した挿し木苗の苔玉を作ります。そのほかの珍しい植物の苔玉も作ります。

* 問い合わせ、申し込みは [大湫宿丸森\(0572-63-2455\)](tel:0572-63-2455)。9:30～16:00



7月の状況と訪問者

* 6月21日 新型コロナ緊急事態宣言解除。同時に、岐阜県に発出されていたまん延防止等重点措置も解除。

* 7月 12 日 首都圏等にコロナ緊急事態宣言再発出。愛知県にまん延防止等重点措置。8/22 まで延長。

* 7月 18 日 国登録文化財新森が『古民家カフェ 橘』としてオープン。

(7/21 現在)

町 外		町 内		合 計	その内(外国関係)
大人	幼小中高	大人	幼小中高		
144	9	68	3	224	0

1 年度同月比	79.2%	R3,4～	1,388	オープンからすべて	36,815
---------	-------	-------	-------	-----------	--------

* 6/21 に一旦解除された緊急事態宣言ですが、変異株や自粛疲れからか、ほどなく再増加に転じ、7/12に4回目の宣言発出になりました。ワクチン接種の進行に伴い、今回は若い人たちの感染が多いのが目立ちます。大湫宿を訪れるお客様も、一時は回復傾向にありましたが、再びの落ち込みはやむを得ません。オリンピックの開催を挟んで、8/22 までの辛抱です。

せらしお
8月の集まるう会 R3

☆太鼓は。。。8/7と8/21です。

大湫町コミュニティ
推進協議会
集まるう会

9/5の瑞浪公園にむけて「楽」の練習をします。

ロビー企画
つたがる太鼓プロジェクト
大湫の神明「大杉、倒壊から
復興への道 報告展」

→ロビーです
文化センターの

☆さつま芋は。。。暑い日が続き、なかなか手入れが出来ません。涼しい日に、ちよつと見てやって下さい。名札を作りましたが、苗がそろってから立てます。








☆短歌・俳句コーナー

のりつけ ほつせー
はいはい わがこころ
ふくろうさん
今日は 青空と せんたん田舎

たのしみは 帰ってりくと刑
犬みつけ 犬と散歩し
犬なでるとき
たなほしりさ

ようやくか
不毛な手い姉二人
手渡すギフト 結わえる心
足立ゆか
Atschi
yuka

大湫公民館・大湫町コミュニティ推進協議会からのお知らせ

	<p>リ・アップ “ひよも” だより 8月のひよも活動 お休みさせていただきます。</p>
	<p>おしゃべりサロン『こぶし』（100円コーヒー） 当分の間お休みさせていただきます</p>
	<p>大湫宿お休み処 8月の営業日 7日（土）10:00～15:00 ※当日（お急ぎ）の予約は、丸森(☎0572-63-2455)へお願いします。</p>
	<p>ご招待券あります （公民館にあります。欲しい方は取りに来て下さい）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山道界隈のやきもの 17枚（1枚で2名入れます） 期間：令和3年5月1日～8月29日 場所：瑞浪市陶磁資料館 ・岩田色ガラスの世界展 2枚（1枚で1名入れます） 期間：令和3年7月10日～8月29日 場所：岐阜県現代陶芸美術館
	<p>オススメ!! 大湫分室の本 『羊毛フェルトでつくるかわいい鳥たち』 宇都宮みわ：著 ブティック社：刊 ふんわりやさしい羊毛を使って手のリサイズの鳥を作ります。メジロやズメなど、もこもこと可愛い形が魅力的です。ぜひ、挑戦してみてください。 6月の大湫分室 貸出人数：18人 貸出冊数：69冊</p>
	<p>青色回転灯防犯パトロール 8月のパトロール予定者 8月上旬 小栗 和茂：植村 準 8月下旬 棚橋 悟：奥村 義二</p>
	<p>デマンド交通 利用者（大湫～日吉東部） 6月：34便 延べ50名（稼働率25.7%）</p> <div data-bbox="1038 1771 1422 1991" style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>皆さん、たくさん利用してください。</p> </div>

区長日記

都会におけるコロナ感染拡大の第5波と、東京オリンピックが重なり悩ましい昨今ですが、岐阜県ではひと足早く高齢者を中心にワクチン接種が進み、早期に社会的免疫状態を達成できることを願うばかりです。

去る7月11日は、大杉が倒れて一周年となり、若手のみなさんが「大杉吊いの火祭り」を企画していただき、ありがとうございました。あらためて心を一つにして、困難を乗り越えて参りたいと思います。

7月18日、大湫宿内に初めて飲食店がオープンすることとなりました。昨年度市所有の古民家として再整備された「新森」が、「古民家カフェ橘」として装いも新たに営業されます。

また、西森川邸においても、再整備へ向けたクラウドファンディングを達成し、7月19日から工事に着手されます。時間が止まっていた宿場の古い建物に魂を吹き込んでくださった関係者のご尽力に敬意を表するとともに、コロナ禍の中での営業開始となりますので、大変だとは思いま

すが、頑張っていたきたいと思います。

小さな事であっても、チャレンジ精神をもって取り組む実践の積み重ねが、私たちの未来を切り開いて参ります。ともに頑張りましょう。

足立

- 7月2日 定例区長会・幹事会
- 4日 西森川着工前神事
- 5日 瑞浪北中生キキョウの花寄贈
- 6日 県教育委員会公民館指導
- 12日 中京テレビ大杉取材
- 13日 中山道ボランティアガイド大湫研修
- 14日 防災待機避難所開設
- 16日 中山道保存活用計画策定委員会・新森内覧会
- 20日 農協大湫ATM舎立替打合せ会
- 21日 岐阜県博物館大杉展示打合せ
- 22日 第16回神明大杉再生検討会議
- 24日 大杉保存活用事業町民説明会
- 25日 パターゴルフ場整備活動・モニタリング1000
- 31日 釜戸・大湫合同パターゴルフ大会

令和三年八月行事予定

予 定

三〇	二九	二六	二五	二四	二二	二一	一九	一七	一五	一一	十	九	八	七	六	五	四	二	日	
月	日	木	水	火	日	土	木	火	日	水	火	月	日	土	金	木	水	月	曜	
幼・小・中学校始業式	広報委員会 神田花火大会20時より	公民館講座『大杉で作品作り』	公民館講座『大杉で作品作り』	第一回公民館運営委員会	モニタリング調査 転入対策委員会（笠置）	瑞浪花火 集まろう会太鼓練習	公民館講座『絵手紙教室』	市長と語る会	小・中学校PTA奉仕作業	大杉再生検討会議	民生児童委員協議会	公民館講座『夏休み工作講座』	丸森『コケ玉作り教室』	大杉保存活用工事に関する説明会 集まろう会太鼓練習	丸森『コケ玉作り教室』 区長会・幹事会	公民館講座『おおくて寺子屋』	公民館講座『おおくて寺子屋』	公民館講座『おおくて寺子屋』	財産区全員会議 公民館講座『シソジュース作り』	
不燃ごみ:8/5(木) : 資源ごみ:8/20(金)																				

編集後記

梅雨が明け、暑い毎日です。
今年はずいぶん夕立が来て、夜を涼しくしてくれています。

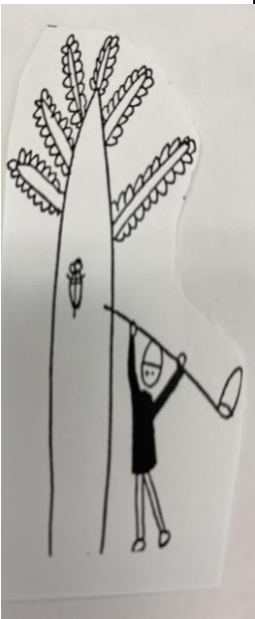
コロナ禍が心配される中ですが、東京オリンピックが始まりました。テレビを見始めるといろいろな種目の日本選手の活躍に釘付けになってしまいます。子供達もきつと、希望と夢をもらったと思います。

子供達はどんな夏休みを過ごしているのでしょうか。

大湫で生まれた私の子供は、小学生の時に蝶の標本をつくりました。自然豊かな大湫ならではの。おかげさまで蝶の名前を少し覚えました。親の方が夢中になって追いかけ、捕虫網を振り回していた事を懐かしく思い出します。

体に気をつけて暑い夏を乗り切りましょう。

M



編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
 令和3年 8月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL.0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp>